

第13回15U全国KB野球選手権大会  
第2回15U全国女子KB野球選手権大会 in伊豆

【大会要項】

平成25年7月18日現在

1 目的

「明日の日本を担う青少年を育てる」という観点から、野球競技を通じて青少年の健全な育成を目指すとともに、中学生の身体の成長段階を考慮し、高等学校の硬式野球へスムーズに移行できるよう計らう。

2 主催

公益財団法人日本野球連盟 KB野球連盟

3 主管

15U全国KB野球選手権大会実行委員会

4 特別後援

伊豆市・伊豆市教育委員会

5 後援

文部科学省 静岡県・静岡県教育委員会 NHK 読売新聞社 全国新聞社事業協議会  
共同通信社 静岡新聞社・静岡放送 公益財団法人全日本軟式野球連盟 日本女子野球協会  
日本野球連盟東海地区連盟 伊豆の国市・三島市・函南町及び各市町の教育委員会

6 協力

KB野球連盟「応援団の会」 静岡県野球連盟 NPO法人伊豆市体育協会  
日本大学国際関係学部 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院 伊豆箱根鉄道

7 特別協賛

シダックス株式会社

8 協賛

ナガセケンコー株式会社 コカ・コーラボトラーズ オリックス株式会社  
近畿日本ツーリスト株式会社

9 日程

(1)第2回女子大会 平成25年8月2日(金)～8月5日(月) 予備日8月6日(火)  
監督会議 8月1日(木) 16:00  
開会式・前夜祭 8月1日(木) 17:30

(2)第13回大会 平成25年8月8日(木)～8月11日(日) 予備日8月12日(月)  
監督会議 8月7日(水) 16:00  
開会式・前夜祭 8月7日(水) 17:30

## 10 会 場

### 【競技】

「志太スタジアム」 〒410-2501 静岡県伊豆市下白岩1434 TEL 0558-83-2310  
スタジアム内に大会競技本部を設置する

### 【監督会議・開会式・前夜祭】

「ホテルワイナリーヒル」 同上  
ホテル2Fに大会運営本部を設置する

## 11 出場資格

- (1) 第2回女子大会 日本国内の15歳以下(中学生)の女子野球チーム
- (2) 第13回大会 日本国内の15歳以下(中学生)の野球チーム

## 12 出場チーム数

- (1) 第2回女子大会 14チーム
- (2) 第13回大会 16チーム

## 13 チーム構成

### (1) 第2回女子大会

監督：1名 コーチ：2名以内 スコアラー：1名

選手：参加登録選手のうち1試合ごとに20名以内を出場選手(ベンチ入り選手)として届け出る。

＜例＞ 23名を参加登録した場合、試合当日に3名を登録抹消し、試合前のメンバー交換時に大会本部に届け出る。準決勝と決勝を1日で消化する場合は、試合前に都度、届け出る。

### (2) 第13回大会

監督：1名 コーチ：2名以内 スコアラー：1名(中学生に限る)

選手：20名以内

## 14 競技規則

- (1) 2013年公認野球規則および大会特別規定による。
- (2) 大会特別規定は別に定める。
- (3) 使用球は連盟公認球(ケンコーワールドLB-A)とする。

## 15 競技方法

トーナメント方式(試合時間100分・7回戦)とする。詳細は大会特別規定に定める。

## 16 大会参加費

1チームあたり30,000円、参加登録選手1人あたり2,000円を、チーム受付時に大会運営本部に納入する。

## 17 備考

この大会要項は平成25年7月18日現在のものです。

内容につき変更があった場合は出場チームに通達するとともに連盟ホームページに告知します。

連盟HP <http://www.k-ball.jp>

## 【表彰】

### 1 優勝チーム

賞状・文部科学大臣杯・優勝旗・優勝盾・優勝記念メダルを授与する。

- ① 文部科学大臣杯（文部科学省）持ち回り/翌年に代杯授与
- ② 優勝旗（KB野球連盟）持ち回り/翌年にレプリカ授与
- ③ 優勝盾（日本野球連盟）
- ④ 賞状（文部科学省、NHK、読売新聞社、静岡新聞社・静岡放送、日本野球連盟、KB野球連盟）
- ⑤ メダル（優勝記念の金メダル 選手、監督、コーチ、スコアラーの24名以内）

### 2 準優勝チーム

賞状・準優勝杯・準優勝盾・準優勝記念メダルを授与する。

- ① 準優勝杯（KB野球連盟）
- ② 準優勝盾（日本野球連盟）
- ③ 賞状（NHK、読売新聞社、静岡新聞社・静岡放送、日本野球連盟、KB野球連盟）
- ④ メダル（準優勝記念の銀メダル 選手、監督、コーチ、スコアラーの24名以内）

### 3 3位チーム（2チーム）

KB野球連盟から賞状・盾を授与する。

### 4 山本英一郎賞（最優秀選手賞）

大会で最も活躍した選手1名に授与する。

### 5 参加賞

参加者の全員に参加賞を授与する。

#### 【山本英一郎賞 歴代受賞者】

- |             |   |
|-------------|---|
| 2006年(第6回)  | 中村 勝(投手・藤倉オールスターズ-春日部共栄高-北海道日本ハムファイターズ) |
| 2007年(第7回)  | 田口公貴(内野手・埼玉オールスターズ-帝京高(甲)-日本体育大)        |
| 2008年(第8回)  | 竹崎裕麻(投手・埼玉スーパースターズ-春日部共栄高-青山学院大)        |
| 2009年(第9回)  | 木村光彦(投手・オール八千代-習志野高(甲)-日大)              |
| 2010年(第10回) | 吉澤岳志(投手・茨城県東地区選抜-常総学院高)                 |
| 2011年(第11回) | 東日本大震災の影響により開催せず                        |
| 2012年(第12回) | 金井修司(投手・川口クラブ-浦和実業高)                    |

女子大会

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 2012年(第1回) | 富山沙絢(投手・ウィングスジュニア) |
|------------|--------------------|

#### 【山本英一郎賞とは】



故 山本英一郎氏

山本英一郎…全日本アマチュア野球連盟会長、日本野球連盟会長などアマ球界の要職を歴任。

野球の五輪正式採用など国際化に尽力し、1997年、野球殿堂入り。また、Kボールを志太勤 KB野球連盟会長とともに開発し、その普及や発展に多大な貢献をしました。2006年5月没。享年87歳。

山本英一郎賞は、氏の功績を讃え、第6回(2006年)大会より最高殊勲選手に贈呈される賞として制定されました。